

平成25年度第2回さぬき市高齢者虐待防止ネットワーク会議 会議要旨（要約）

- 1 日 時 平成26年1月30日（木） 14:00～15:15
- 2 場 所 さぬき市福祉事務所2階201・202会議室
- 3 出席者 [委 員] 山下博史・小西麻里子・時岡信一・吉原正和・河田紳一郎・川田珠己・大河原さとみ・尾崎民子・間嶋賀津子・平賀一善・岩崎喬士・和田浩二
[事務局] 山下和久・國方秀樹・池上博子
[傍 聴] 1名
[その他] なし
- 4 議 題 (1) 平成25年度さぬき市高齢者虐待防止・対応における相談・活動状況について
(2) 平成26年度さぬき市高齢者虐待防止・対応における活動計画（案）について
(3) 事例紹介
- 5 その他 (1) 次回委員の選出について
(2) 次回開催について

6 会議の内容は次のとおりである。

| 発言者 | 意見概要 |
|-------|---|
| (事務局) | <p>ただ今より、平成年25年度第2回さぬき市高齢者虐待防止ネットワーク会議を開会します。開会にあたり、部長よりご挨拶申し上げます。</p> <p>(部長挨拶)</p> <p>本会は会長が議長となることから以後よろしく申し上げます。</p> |
| (議長) | <p>それでは、これより議事に移ります。</p> <p>まず、平成25年度さぬき市高齢者虐待防止・対応における相談・活動状況について事務局より説明をお願いします。</p> |
| (事務局) | <p>(事務局説明 議題(1))</p> |
| (議長) | <p>ただいまの説明について、質問等ございませんか。</p> <p>本市の虐待の発生件数は少なく、なかなか本市の傾向は見えてきませんが、国の調査からどのような傾向にあるかはご理解いただけただのではないかと思います。全国的に介護施設で百件以上虐待が発生しているという内容がありましたが、そのなかで虐待者は比較的若い方が多い実態が出てるように思います。施設の中では虐待に関する研修が行われていると思いますが、特にこれらの方への啓発を特に重要視する必要があるのではないかと考えます。家庭内での虐待については、虐待者として息子が多いことや、またご夫婦で高齢の夫が多いというのが、全国的な傾向であるということから、そこから今後の取り組みのなかで留意すべき点であるとも感じています。</p> |
| (議長) | <p>実際に介護施設で高齢者虐待について取り組んでいることがありましたら、ご紹介いただきたいと思います。</p> |
| (委員) | <p>虐待については施設も意識しています。言葉の虐待が自分では気がつかないけれど、第三者が聞くと虐待ではないかと思うようなこともあるのではないかと思うような感じがしました。定期的に自分を振り返るためにチェックをしています。そのなかで「本人が言葉の虐待をしていることに気がついていない場合に、あなたはそれを伝えることができますか。」というものがあるのですが、人間関係が構築できているためか、「注意できる」という回答があったのが嬉しく思いました。</p> <p>言葉の虐待はどの種別に当てはまるのでしょうか。</p> |
| (事務局) | <p>心理的虐待に分類されます。</p> |
| (委員) | <p>家族の方とお話をしていても、家族はそのようなつもりはなくても、高齢者からみると言葉の虐待であったり、叩いたりしなくても、「なんでそん</p> |

| | |
|------|---|
| (委員) | <p>なことができないの」という言葉は虐待だよねと確認することがあります。それが身内であれば、ついつい言ってしまうこともあると思いますし、職員でも身内に対して話をすることがあります。家族も職員も研修により自分に気づいてもらうしかないと思います。また、自分の性格を認知してコントロールすることが非常に大切だと思うので、福祉の仕事は、利用者の態度に怒らず冷静に判断できる職員でなければ難しいと思います。</p> |
| (議長) | <p>よく市民の方から、「何かあった時にどこに相談すればよいのかわからない」という意見をいただきます。市としては地域包括支援センターに相談いただくよう答えています。介護などの経験がない方にとってはわかりづらいとの意見があります。在宅支援センターの立場から、日頃市民の方と接してお気づきの点はありませんか。</p> |
| (委員) | <p>地域の高齢の方の相談を受ける立場にあります。みなさん色々な情報をお持ちで、地域包括支援センターや民生委員に相談される方が多いとお聞きします。私たちも相談いただいておりますが、実際に相談をされた方から広まっているケースもあります。地域に根ざした相談窓口として、気軽に相談できる場を作っていきたいと思います。</p> |
| (議長) | <p>老人クラブの立場からはどうでしょうか。</p> |
| (委員) | <p>もう少し地域包括支援センターの情報をみんなに伝えることが大切かと思えます。まだ知らない老人クラブ員もたくさんいるように思えます。何かあれば包括へ、というチラシなど作成したらよいのではないですか。</p> |
| (議長) | <p>市でも広報活動は行っていますが、市民の方の立場からすると、自分が必要にならないとなかなか関心を持ってもらえないところもあります。今後の広報に生かしたいと思います。</p> |
| (委員) | <p>民生委員の立場から、日頃相談を受ける中でご意見はありませんか。</p> <p>地域には民生委員制度を知っていても、地区の担当民生委員がわからないという方がかなりおられます。こちらでも啓発活動が必要だと思います。しかし、更に業務が増えることへの不安もあります。</p> <p>先ほど出た言葉づかいについてです。高齢者とは方言で話すことが多いですが、それを不快に感じられる方がいました。地元育ちの方でないと、馬鹿にされた、叱られたと感じる言葉があるようです。</p> <p>今のところ地域で大きな問題は発生していません。先ほどの報告で、虐待発生件数が少なくなっているとのことでしたが、今後隠れている、通報が遅れている事例が出てくるのでしょうか。</p> <p>未だに民生委員が訪問すると、何か問題が起きたのかと警戒されることがあります。気軽に足を運べる存在になりたいので、地区で相談を受けた時は地域包括支援センターへ連絡しています。</p> |

| | |
|-------|--|
| (議 長) | 高齢者虐待は人権侵害でもあります。人権擁護委員の立場から、日頃の活動の中でお気づきの点はありませんか。 |
| (委 員) | 高齢者以外にも虐待の相談が多くなっているので、法務局も委員会を設けて対応に力を入れています。私自身は今のところ、直接虐待についての相談を受けたことはありません。 |
| (議 長) | 続きまして、平成26年度さぬき市高齢者虐待防止・対応における活動計画について事務局より説明をお願いします。 (事務局説明 議題(2)) ただいまの説明について、質問等ございませんか。 |
| (議 長) | 新たな取り組みとして街頭キャンペーンが挙げられています。 |
| (事務局) | 実施の際には関係機関のみなさんにご協力いただきたいと思います。 |
| | 本日の議題(1)平成25年度さぬき市高齢者虐待防止・対応における相談・活動報告、議題(2)平成26年度さぬき市高齢者虐待防止・対応における活動計画(案)について、御承認いただけますか。 異議なし。 【原案承認】 〔議題(3)に関する会議資料及び会議録については非公開〕 |
| (委 員) | 自宅がごみ屋敷となっている例は、サービス事業所としてよく聞きます。迎えに行った時に着替えなども十分できていないです。介護状態の本人と息子だけという家族構成も多く、生活の改善に向けた提案を受け入れてくれない場合に、パイプ役になる方を探すのに苦労します。家族との関係構築が大切ですが難しいです 本人を迎えに行き、息子さんが倒れているのを発見して、対応したことがあります。その後息子さんが先に亡くなり、今まで関わりのなかった子どもさんは金銭管理などの状況が全くわからず、整理に大変苦労されたようです。 |
| (議 長) | ごみ屋敷では火災の心配をされることも多いですが、広域の立場からご意見はありませんか。 |
| (委 員) | 対応は難しいです。実際に火事が起きた家をごみ屋敷だった例はありません。 |
| (事務局) | 一人暮らしの方が危険な暖房器具の使い方をしていると情報があり、民生委員と訪問したけれど、聞き入れてもらえなかったことがあります。消 |

| | |
|-------|---|
| | 防の方に同行訪問を依頼したところ快く引き受けていただきました。本人からも「気をつけます」との言葉があり、関係機関の方とうまく連携できた例だと思います。 |
| (議 長) | 福祉や司法の立場からご意見はありませんか。 |
| (委 員) | 軽い精神障害の方には、片づけができない方が多いように思います。なかなか本人の同意は得られないので、ごみ屋敷への対応は大変なことだと思います。保健師と一緒に関わってもらって精神科の受診に繋がり、落ち着いた例があります。 |
| (委 員) | 日本は民事不介入が根本にあり、他人から手を出しにくいです。例えば近所の方に被害があれば、片付けるよう法律的に対応できるかと思います。また、迷惑防止条例を制定されていれば、根拠を求めてある程度介入することが可能かと思います。ごみ屋敷の対応には、どの行政団体も苦慮しているのが実情と聞きます。本人とよい関係を築き、自らがごみを始末する方向になるのが、現状では現実的な対応かと思います。 |
| (議 長) | 貴重なご意見を色々いただきました。今後も対応していく上で参考にさせていただきます。今後どうかよろしくお願いします。 本日の議事案件については、これを以って終了させていただきます。 |
| (事務局) | 続きまして、次回委員の選出についてでございます。担当から説明させていただきます。 (事務局説明その他(1)) 続きまして、次回会議の開催についてでございます。 次回の会議は、平成26年7月頃に行います。 (事務局説明その他(2))。 これもちまして、閉会させていただきます。本日はどうもありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。 (課長挨拶) |